

習近平政権の安定性について

東京大学大学院法学政治学研究科教授

高 原 明 生
たか はら あき お

- * ライバル視された人物が排除される背景
- * 新しい組織作りは権力基盤固めの一環
- * 専門小組の出身は何か
- * 格差拡大、環境汚染など数多い課題
- * 募る不満への対応策は依然、不十分
- * 厳しい引き締め政策を行う側面も
- * 彼が多用する「中国の夢」の意味は
- * 米国も受け入れた「新型大国関係」
- * 探るべき話し合いによる共存の道
- * 一段と重要になる改革の継続



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はほぼ1年半ぶりに高原先生においていただきました。前回はたしか習近平政権の誕生のちょうど直前でございまして、たいへん丁寧に政権誕生のバックグラウンド、その性格についてお話をいただいたと記憶しております。それから1年半たちまして、日中関係が悪いということもあります。中国の政権自体についてもいろいろなことが日本では言われております。これまでもさまざまな講師の方にお話を伺いましたが、われわれ日本側だけから見ていると中国のことはよくわからない。中国の今置かれている状況、どういう原因で何が起きているのかということ冷静に分析する必要があると思います。

今日は、そういう面ではいちばん適任だと考えております高原先生においていただき、「習近平政権の安定性について」じっくり伺いたいと思います。それでは先生、よろしくお願いいたします。（拍手）

高原 ご丁寧な紹介をどうもありがとうございます。ありがとうございました。

中国が今世界の焦点になっておりまして、世界のあちこちへ出かけていって中国の話をするのですけれども、必ずしもよく理解されていません。実際、隣の国の日本で見えていてもわからないことが非常に多いです。ですので、今日お話し申し上げることは、今日時点で私が理解していることというふうに取り上げていただきたいと思います。